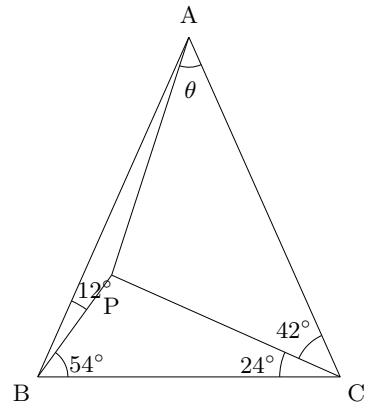


整角三角形 T(12,54,24,42)

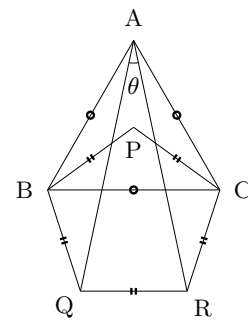
問  $\triangle ABC$  の内部に点 P を  
 $\angle PBA = 12^\circ$ ,  $\angle PBC = 54^\circ$ ,  $\angle PCB = 24^\circ$ ,  $\angle PCA = 42^\circ$   
 となるようにとるとき、 $\angle PAC$  の大きさを求めよ。



【準備】

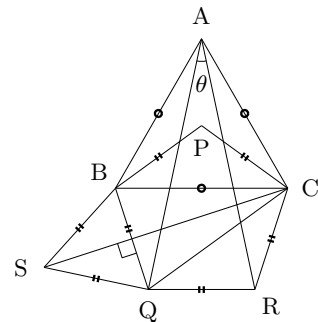
正三角形と正五角形が作る角度

三角形 ABC は正三角形で、五角形 PBQRC は正五角形である。  
 $\angle QAR = 24^\circ$  である。



【証明】

正三角形 BQS を BQ からみて点 C と反対側に作ると、  
 2 つの正三角形が点 B を共有しているから  
 2 辺夾角相等より、 $\triangle ABQ \equiv \triangle CBS$   
 正三角形と正五角形は線分 SC に関して対称であるから、  
 線分 SC は  $\angle BCQ$  を二等分する。  
 $\angle BAQ = \angle BCS = \frac{1}{2} \angle BCQ = 18^\circ$   
 $\angle QAR = 60^\circ - 2 \cdot 18^\circ = 24^\circ$



【求め方】初等幾何

$\angle ABC = \angle ACB = 66^\circ$  より  $AB = AC$   
 $\triangle BCP$  の外心を D とすると  $DB = DC$  より  $\triangle ABD \equiv \triangle ACD$   
 $\angle ACD = 66^\circ + 12^\circ = 78^\circ$ ,  $\angle ADC = 90^\circ - 12^\circ = 78^\circ$  より  
 $\triangle ACD$  は  $\angle CAD = \frac{1}{2} \angle BAC = 24^\circ$ ,  $AC = AD$  の二等辺三角形である。  
 $DP = DC$ ,  $\angle PDC = 2\angle PBC = 108^\circ$  より  
 線分 CD, DP を隣り合う 2 辺とする  
 正五角形 CDPQR を作る事ができる。  
 $\triangle QCD$  は  $QC = QD$  の二等辺三角形である。  
 線分 AQ は  $\triangle ACD$  と  $\triangle QCD$  の対称軸である。  
 正三角形 A'PR を PR からみて点 A と同じ側に作ると、 $\angle CA'D = 24^\circ$   
 線分 AQ は正三角形 A'PR の対称軸であるから、点 A' は点 A と一致する。  
 $\angle PAC = \angle PAD + \angle CAD = 18^\circ + 24^\circ = 42^\circ$

